

ノート型パソコン等の基本仕様と推奨スペック

2026 年度（令和 7 年 12 月 24 日）

1. 基本仕様

基本仕様は、本学の授業や実験等で利用するために必要なノート型パソコンの機能とその他の機器、および自宅で遠隔授業等を受講するために必要なインターネット環境を示しています。以下の仕様を満たしたノート型パソコン等をすでにお持ちの場合は、新たに購入する必要はありません。

必携機器	仕様
ノート型パソコン	<p>ハードウェア要件：</p> <ul style="list-style-type: none">無線 LAN を備えることキーボードを備えること（2in1 タイプでも良い）カメラ、マイク、スピーカーを備えること（外付けでもよい）USB 等の外部インターフェースを 1 つ以上備えることバッテリー駆動時間が 3 時間以上あること携行性にすぐれていること <p>ソフトウェア要件：</p> <ul style="list-style-type: none">OS は Windows または macOS（OS メーカーのサポート期間内であれば、大学ネットワークに接続できる*）Microsoft Office とウィルス対策ソフトが軽快に動作すること（入学後、本学の包括ライセンスでインストールできる）
その他	<p>外部接続：</p> <ul style="list-style-type: none">上記ノート型パソコンに接続できるヘッドセットを用意すること（学内でオンライン授業を受講する時はヘッドセットを使用すること、スマートフォン等で使用しているものと共に用してもよい）外部ディスプレイに接続できること（機種によっては変換アダプターが必要になる） <p>破損・故障対策：</p> <ul style="list-style-type: none">不用意な落下事故等による破損等に備えること（携行用バッグなど）
自宅インターネット環境	<ul style="list-style-type: none">上り下りともに通信速度が少なくとも 3 Mbps 以上あること（10 Mbps 以上が望ましい）

* Windows10 (22H2)のサポートは 2025 年 10 月 14 日に終了しました。また、macOS 13Ventura 以前のセキュリティアップデートは行われていません。各自、使用している Windows または macOS のサポート期間やセキュリティアップデートに注意して、適時、バージョンアップしてください。

2. 新規購入時のノート型パソコンの推奨スペック

ノート型パソコンの推奨スペックは、入学後4年間は十分に利活用できることを想定した仕様になっています。新規に購入される場合、参考にしてください。

	推奨スペック	備考
OS	Windows11 Home/Pro 64 bit、または macOS 15 Sequoia 以降	
CPU	Intel Core Ultra 相当 (AMD Ryzen など) 以上、または Apple M3 相当以上	Windows 機の場合、CPU スコア (PassMark) が 15,000 以上が望ましい
メインメモリ	16 GB 以上	
内蔵ストレージ	SSD 256GB 以上	
ディスプレイ	12 インチ以上	フル HD (1080p) 以上が望ましい
ネットワーク	Wi-Fi 6 (802.11ax) 以上	
内蔵デバイス	カメラ、マイク、スピーカー	
外部インターフェース*	USB3.0 以上が 1 つ以上	USB Type-C が望ましい
バッテリー駆動時間	10 時間以上	
重量	携行性に優れているもの	1.5kg 未満が望ましい
保証	2 年以上のメーカー保証相当	動産保険への加入が望ましい

* 外部接続 (ヘッドセットや外部ディスプレイ《HDMI》など) に必要な変換アダプターは各自用意すること。

3. 在学生からの意見



2025 年度は BYOD の利活用に関するアンケートを取りました。BYOD に関する様々な意見をいただいているのでこちらも先輩の生の声として参考にさせていただければと思います。

<https://cite.tut.ac.jp/howto/survey2025>



2024 年度は BYOD の利活用に関するアンケートを取りました。BYOD に関する様々な意見をいただいているのでこちらも先輩の生の声として参考にさせていただければと思います。

<https://cite.tut.ac.jp/howto/survey2024>

4. 各系・院からの注意事項

全系共通	所属する系の実験等において、学生が所有するノート型パソコンを利用できなかった場合、担当教員の指示に従ってください。また、ノート型パソコンが、故障して学修に支障がある場合、IT活用教育センターから短期貸出できることがありますので、お問い合わせください。
機械工学系	新規にノート型パソコンを購入する場合には、Windows機を強く推奨する（Windowsのみで提供されるソフトウェアを使う講義があるため）。
電気・電子情報工学系	既にノート型パソコンを所有されている方で、基本仕様の内容を満たしており、標準的なC言語の環境構築ならびにプログラム（高校や高専の授業で使用したもの等）の実行ができる場合は、新たに購入する必要はありません。ただし、入学後にオンライン会議ツールを使用してみて、支障が生じた場合は、ノート型パソコン（Windows11推奨）の買い替えを推奨します。
情報・知能工学系	macOSの場合、Venturaより新しいOSにアップグレードが可能であることを条件とします。USBポートがType-Cのみの場合、Type-Aへの変換アダプターが必要です。
応用化学・生命工学系	CPUスコア(Passmark)15,000以上であれば、Ultra(NPU)なしのノートPCでも可。
建築・都市システム学系	macOSの場合、Windowsがブートできる環境を用意できること。各演習の初回授業の際に、必要な周辺機器（マウス、アダプター）の用意を授業担当教員からお願いする場合があります。
総合教育院	特になし。